

# 上田市公文書館だより/第3号

## ■公文書館から

◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公文書館は4月9日から約2か月臨時休館しました。現在は、館内の換気・消毒、入館者のマスク着用・手指消毒・距離確保など対策を講じて開館しています。講座開催は今のところ見合わせています。◆百年程前、上田町は市制を敷き、県下三番目の市「上田市」が誕生しました。当時の記念行事の動画がつい最近発見され話題になりましたが、当館も関係文書（資料紹介欄参照）を展示しました。◆同じ時期、スペイン風邪（インフルエンザ）が世界中で大流行し、約5億人が感染したといわれ、日本でも甚大な感染が発生しました。当時より医学は格段に進歩していますが、マスク姿の当時の人々の写真を見るにつけ歴史は繰り返すと感じます。◆さて、市役所建替えに伴い、当館への公文書移管が活発化しています。目録の作成、保存修理等目まぐるしい作業の日々が始まります。新型コロナが収束し、公文書館の日常が戻ってくることを願ってやみません。（土屋）

感染症予防の先駆者「北里柴三郎」⇒

出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」



## ■公文書館の催し

○企画展示「旧役場文書から見る地域の歴史Ⅱ－大正13年別所線千曲川鉄橋補助関係ほか－」

・9月10日(木)から11月29日(日)まで1階ロビーにて

・展示説明会…10/30(金)及び11/14(土)の①10時 ②11時 ③13時 ④14時 各回とも先着5人の予約制・10月21日(水)より申込み受付開始

○令和2年度公文書館連続講座…開催未定

## ■公文書館のご案内



### ●住所・電話

〒386-0413 上田市東内 2564-1  
TEL.0268-75-6682 FAX75-6683

### ●メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

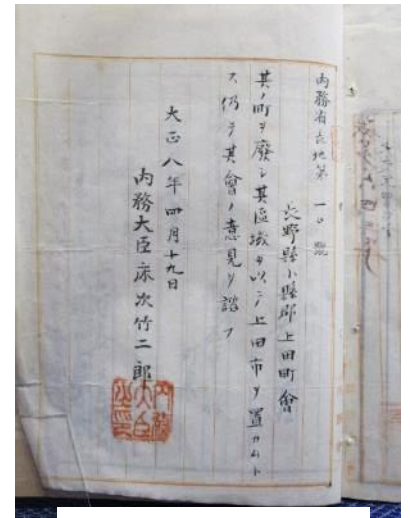
### ●ホームページ

上田市ホームページ内

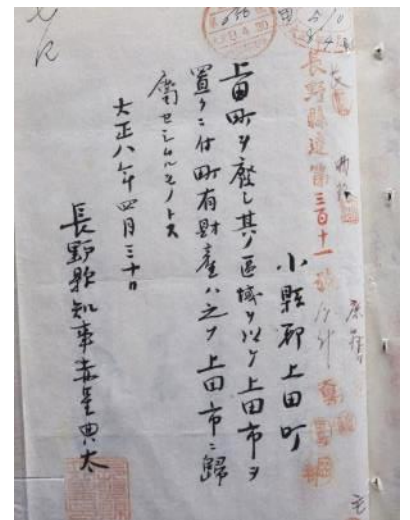
## ■公文書館所蔵資料の紹介

### 「議事雑件編冊」(大正八年上田町文書)

●上田町に大正8(1919)年5月1日、市制が施行され、上田市が誕生した際の資料です。今年5月1日、旧上田市は市制施行満百周年を迎えました。●大正8年の上田町『議事雑件編冊』の簿冊には、4月19日付で「その町を廃し、その区域をもって上田市を置こうとする。よってその会の意見を諮(と)う」とし、上田町会宛に内務大臣床次(とこなみ)竹二郎名で諮問書(写真上)が送られています。●4月30日付で「上田町を廃し、その区域をもって上田市を置くに付、町有財産は之を上田市に帰属せしむるものとす」との上田町宛の県知事赤星典太名の文書(写真下)が残されています。当時の上田町長は細川吉次郎で、5月に上田市長臨時代理となり、8月下旬に3名の候補者の中から内務大臣の任命で市長に就任しました。●市制移行は以前から町の有識者によって提唱され、上田町の将来の発展を期して行われました。県下では長野、松本に続く3番目、全国では83番目でした。これを契機に大正10年には城下村を編入合併し、人口は3万人余となりました。●大正12年、総工費85万円(大正12年の上田市歳出は約44万円)をかけた上水道工事が完成しました。千曲川を水源に台地上の染屋浄水場にポンプアップし、濾(ろ)過後、自然流下で市内に配水しました。完成までに10年の歳月を要した上田市近代化の一大事業でした。(倉澤)



内務省からの文書



県からの文書

## ■公文書館の利用

※公文書館は入場無料、博物館展示室は有料(大人100円)です。



- ◎資料検索 ⇒ 目録検索システムをご利用ください。
- ◎閲覧申込 ⇒ 所定用紙でお申込みください。一度に5点まで。メール・ファックスでもできます。
- ◎資料閲覧 ⇒ 個人情報の有無等の内容審査終了後、公文書館閲覧室でご覧ください。館外貸出は行いません。

※個人情報が含まれる資料は閲覧できない場合があります。目録検索システム、閲覧申込書は上田市ホームページ内の公文書館ページで。